



ときめけ！ 有年っ子

赤穂市立有年小学校
赤穂市西有年2853番地
TEL 0791-49-2081
発行者 西村 博子

のびのびと表現を楽しむ有年っ子たち

～全校で演劇ワークショップに挑戦！～

12月2日（火）、有年小学校体育館が演劇ホールに変身しました。

昨年度、平田オリザ先生をお招きして、現5・6年生は劇づくりをとおして表現力・コミュニケーション力を身につける体験をしました。この体験で得た学びは、学習面や生活面で子どもたちに好影響があり、「ほがらか・はつらつ・すこやか」の有年っ子の育成につながりました。今年度も、有年小学校の特色ある教育活動として、全校児童で「演劇ワークショップ」に挑戦しました。講師は、平田オリザ先生主催の劇団「江原河畔劇場（えばらかはんげきじょう）」の劇団員のみなさんでした。

まず、午前中に全校で「ちっちゃい姫とハカルン博士」劇を観ました。『いろいろなものを測っていく中で、世界には測れないもの、比べられないものがあること、見た目だけではわからないことに気付いていく』というものでした。

午後は、前半に全校でコミュニケーションを促進するためのゲームを楽しみました。後半は、3～6年生が5チームに分かれ、お題に合わせた劇づくりに挑戦しました。それぞれの活動の中で、学年の枠を越え、互いの意見や考えを出し合い、みんなでひとつのものを創り上げる楽しさを体感しました。



表現力・コミュニケーション力は、学習や生活で欠かせない力です。これからも、有年っ子らしさを生かし、特色ある教育活動を推進していきたいと思います。

☆6年生大活躍「全員遊びプロデュース」と「子ども忠臣蔵検定全員合格」☆

12月1日（月）に6年生が国語科の話し合いの学習で考えた全校遊びで楽しい時間をつくってくれました。内容は、有年っ子きょうだい班でのリレー。みんなが楽しめるように、フラフープや縄跳びなどを使った楽しいリレーを考えてくれました。

そして、翌日2日（火）の「子ども忠臣蔵検定」では全員が見事合格！ やるべきことや任される仕事が多い中で、大活躍の6年生です。



だれもが幸せに暮らせる社会って？～親子福祉体験活動～

12月5日（金）、今年で29年目を迎える親子福祉体験活動を行いました。

「福祉」とは「しあわせ」や「ゆたかさ」を意味する言葉です。わかりやすく言うと、「福祉」とは、「人を幸せにすること」「よりよく生きること」と言えます。

ちょうど、12月4日から10日は「人権週間」でもあります。

各学年ごとに、手話やアイマスク・点字の体験、高齢者擬似体験、車いす体験と、さまざまな体験を通して、「福祉」「人権」という視点から、「自分も周りの人も大切にするには何が大切か」、そして、「だれもが幸せに暮らせるように何ができるか」を考えることができました。



【1・2年生 手話体験】



【3年生 アイマスク体験】



【4年生 点字体験】



【5年生 高齢者擬似体験】



【6年生 車いす体験】



※一緒に体験してくださった保護者のみなさま、ありがとうございました。